



Up to You ! 活動報告会2022

～若者が考えるまちづくり～

活動紹介

思*あまぽーとアマブラリ
尼崎市立ユース交流センター



虐待サバイバー自立ロードマップ

- ビジョン ・虐待に苦しむ事がない社会
- ミッション ・虐待に苦しむ人々を社会全体で守る
・虐待サバイバーの今と未来に伴走する



SNSのQRコード



テーマ「虐待を減らす」
名前：はつこ

今までの活動

オープンチャット
虐待サバイバーの居場所

- ・SNSでの啓発
- ・みんなで〇〇するかい
- ・虐待サバイバートークイベント

- ・スナックみお



考察

受け入れる

ありのままの
自分を受け入れる

理解する

生きづらさの
原因に気づく

向上心

- ・周囲の理解
- ・生きづらさの改善

繋がり

- ・依存先を増やす
- ・孤立を防ぐ

生きがい

精神的自立を促す

今後やりたい活動

- ・トリセツ（自己理解）



- ・農業x子ども食堂プロジェクト

孤食：中高生食堂



名前 かりん

背景

小学生の頃一人で夜ご飯食べていることが多く寂しい思いを過ごしていました。色々な人の話を聞いて小学生にはご飯食べれる場所があるが中高生にはご飯を食べれる居場所がないことに気づきました、ユースセンターで孤食の人がいて解決したいと思い始めました。

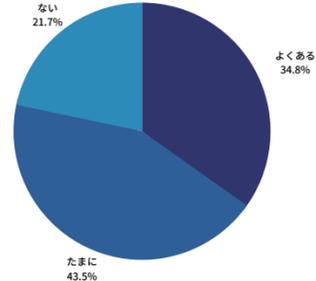
やってきたこと

・アンデパンダン視察

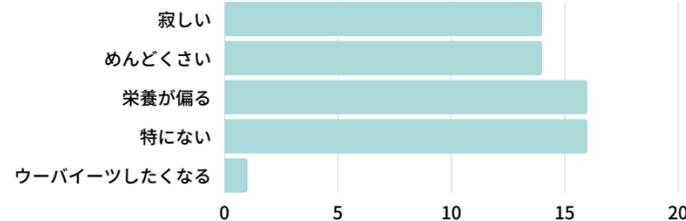


・アンケート

1人でご飯を食べますか？



1人で食べているとき困っていること



・ヒアリング

子ども食堂取り入れた・・・孤食をやるなら同世代向けにやった方がいい理解もしやすいし、アピールしやすい

スクールソーシャルワーカー・・・小学生の孤食ピンポイントでを探しアプローチするのは難しい。

箕面北芝・・・無料が必ずしもいいわけではない。大人になってから罪悪感が抱くかもしれない

子供青少年課・・・中学生になったら子ども食堂に行かない。子ども食堂の中に中学生はいない

現状と理想とその効果

現状

ユース交流センターで中高生にアンケートをしたところかなりの人が孤食の状態『寂しい』『めんどくさい』という回答がありました。また、アンケートでは「みんなで食べれる場所があったら行くか」と言うしつもんに対し「行く」と回答した人がほとんどだった。アンケートの結果より、みんなで食べたい、食べる場所があったらいいというニーズはあるにも関わらずその場所がなくて結果孤食が欠食に繋がっている中高生が多くいる。

理想

尼崎市の中高生が楽しくご飯を食べれるような場所。

遊びの延長戦で気軽に食べれる場所。

週一でみんなでご飯食べれる会みたいな習慣イベントとして扱う。

色々な人とコミュニケーションをとりたくさん関係性が生まれてくる場所。

一緒に料理することによりコミュニケーションを増やす。

効果

共食をすることで孤食による欠食者を減らすとともに、コミュニケーションで中高生のストレス軽減、心への負担が軽減される事が期待される。

中高生の多様な居場所

Project by
光輝

きっかけ

僕自身、学校にも家にも居場所がないと感じていた時に、何度も家を出て公園やで過ごしたり、イヤホンで音を遮断して町を徘徊し、補導もされた経験から
○家から逃げだしたいときに逃げ場となるような居場所が欲しい
○人がたくさんいたり交流がベースの居場所へは人との関わりが苦手な人は参加しにくいので誰とも関わらず過ごせる居場所が欲しい
と思い、活動をスタートさせた。

やってきたこと

- 中高生へのアンケート
人にアンケート調査
- 市内の居場所の調査
ユース交流センター
ぐれいふハウス
アマたまカフェ
- 自主事業として居場所の運営
エンクラブと協力して定期的に居場所の開設を行っている

課題と対策

□市内に多様な中高生の居場所をふやすために

○中高生に対して多様な居場所が必要だと知ってもらう
多様な居場所があることでいろんなニーズの中高生が居場所を利用しやすくなる。まだまだ居場所の数は足りていない

○場所、資金、担い手不足

中高生の居場所をふやすためには資金や、場所、担い手が必要だと思いが、不足している

現状

- “居場所”が必要だと感じている中高生は一定存在している
- 市内に中高生が通うことが出来る居場所は多くない
- 中高生の居場所は一定存在はしているが、他者と関わらず一人で過ごせる居場所がほとんどない

理想の状態

居場所がないと感じている中高生が
安心して利用できる居場所を選べる状態

考えていきたいこと

- 中高生の居場所の必要性を多くの人に知ってもらうには
- 中高生の居場所を増やしていくために使える資源（ヒト・モノ・カネ）を一緒に考えてほしい

ヤングケアラーとは

「ケアを要する家族がいるために、家族のケア（家事、介護、子どもの世話、通訳、感情的サポート等）を行っている子どもたち」
引用元：ふうせんの会HP

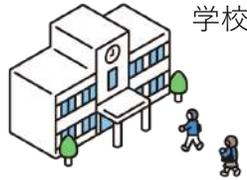
こども・若者がケアと自分のやりたいことを
選択できる状態が理想だと思い活動してます。
支援と当事者の間に大学生がたち、
ニーズに応じてさまざまな活動につなげる
学生団体Support For Youth(SFY)を設立しました。



STEP 1

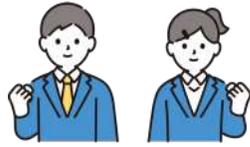
世帯レベルでの把握
子どもとのつながり

行政の把握件数を増やし、危険な状態
にあるケアラーをサポートする。
学校や各機関では日常の関わりから当
事者が声を出しやすい環境を作る



STEP 2
大人へ向けた情報発信
支援団体へのつなぎ

当事者と支援をつなぐ人・機関を
中心に、ケアラーを起点とした支
援ネットワークを形成する。



学生団体・各機関

子どもとのつながりを育む。
ヤングケアラーの可能性のある
子ども・若者を把握する。
Ex)講演会、学習ボランティア、
日常の関わり、診察や訪問



世帯
行政はリストをもとに、
世帯の状況から必要と思
われる支援情報の発信



・学習サポート

- 家庭での支援
- 放課後教室
- 学校同行サポート

・ケアサポート

- 行政サービス紹介
- 放課後付き添いケア
- 家庭訪問

STEP 3
個々に応じたサポート
生涯切れ目のない支援体制

- ・ 尼崎市ヤングケアラーピアサポート事業
- ・ 尼崎市立ユース交流センター
- ・ 地域の各生涯学習プラザ
- ・ 学生団体SFY (Support For Youth)
- ・ 全国のオンラインプログラム
ex)ふうせんの会、かるがもetc.

・レスパイトサポート

- 当事者会の紹介
- イベントの開催
- ボランティア等活動機会の提供

提案したい今後の流れ

STEP 1

STEP 2

STEP 3



という

こんにちは！私達は飛色です！

4年
公園に落ちているゴミに腹が立ちゴミ拾いを始める。

5年
クラスが分かれてしまいゴミ拾いをやめてしまう。

6年
再び同じクラスになり、公園で大量のごみを発見本格的に活動開始

私達はこれらの活動からポイ捨てをする人をなくす活動しています。

市長発表準備では、イベントで得た課題を踏まえ、早めに準備が開始できた！

しっかり準備できた！みんな楽しんでくれた！

中1
サマセミに参加、前回の失敗を踏まえて少し良くなった！

時間内により多くゴミを集めたチームが勝ち

「みんなのホームルーム」に参加色々な人と関わり、交流が多くなる。

プレゼン資料を作り生涯学習プラザに行き、相談、イベントを主催する機会をもらう。

イベント「西武庫公園は宝島」失敗が多く、課題が出来た。

Up to youに参加色々な活動をしている人と出会い影響受け活動の楽しさを知る。

ブカツメーカー

名前：わたもえ

きっかけ



私は高校時代、習い事や進学のためのバイトでやりたい部活ができませんでした。でも、尼崎の地域でやりたいことや好きなことができる場所に出会えたことで、楽しい高校生活を送ることができました。学校だけではない場所で、中高生のやりたいを実現できる仕組みを作りたいと思い、活動をスタートさせました。

中高生の声



- ・毎日活動がある部活には、習い事やバイトと両立できない。
- ・学校に行きづらい人は、部活のような体験ができない。
- ・部員が少ない部活は、学校で認められず活動できない。
- ・部活に必要な備品を買い揃えるお金がない。

これまでの活動



見えてきた課題



- ①サークル活動の立ち上げ
カタン部・麻雀部・演劇部等を立ち上げ活動を実施。
- ②市内公共施設や尼崎市の状況を調査
中高生が活動できる環境の整備状況を調査。

- ①活動できる仕組みがない
尼崎市内のサークル活動はママさんバレーや大人限定の写真サークルしかなく、若者が参加しやすい環境が整っていない。
- ②活動できる場所がない
尼崎市立ユース交流センターは若者無料だが、球技ができないことや園田地区以外からのアクセスが悪いなどの問題があり、他の施設の利用料は、中高生のお小遣いでは高い…

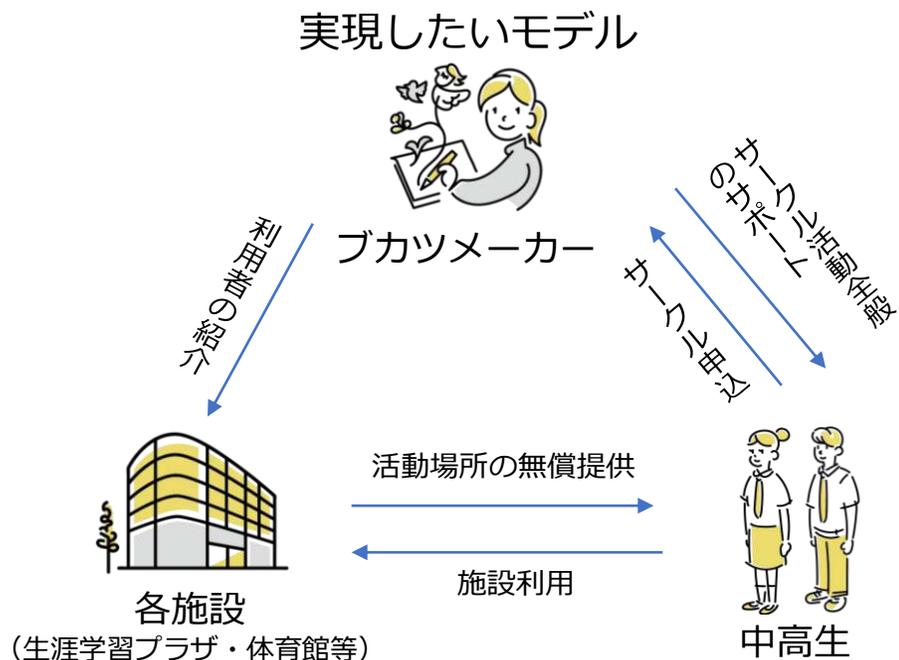


vision



全ての若者に公平な活動経験を

ブカツメーカー の取り組みへ



校則に納得がしたい！

今までの流れ

■ 理不尽な指導・校則に対する不満
自分のしたい髪形ができない。先生（公務員）やスーツを着た会社員の大人が、、やっているようなツーブロックなどが、禁じられている校則に疑問を持つ。



私たちが校則に納得するために

1. 生徒が意見の言える場を設ける（しっかりと学校側が回答する）
2. HPに校則をすべて記載
3. HPに風紀検査の指導方法を記載
4. ガイドラインを策定
を提案していきます！

アンケート実施 合計約250件

- ・自分の学校の校則に満足している中高生 **22.8%**
- ・校則の質問をした時に納得できる説明をしてくれた割合 **17.2%**

Up to You! いっしょ

せせらぎの道とは…

南塚口町にある人口水路。
昭和56年に居住環境整備事業
により創造されたもの。



森公園の噴水
(せせらぎの源)



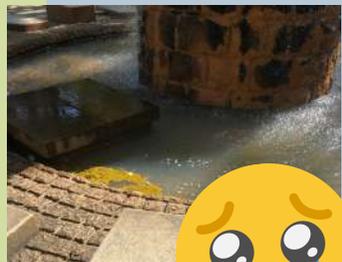
雀の行水
inせせらぎの道

**モデル都市としてでき、
地域の人の誇りに近いものだった**



～現状～

整備されていなくて汚い…
子供を遊ばせたくない！
突然流れてびっくりする



理想の
状態

・子どもを安心して遊ばせる事ができる
・地域の人との憩い＆繋がり
昔のような綺麗なせせらぎの道
を取り戻して、
地域の拠り所になりたい！！

これから

・もっと詳しく調べる
・公園課などへのヒアリング
・お掃除イベント
→地域住民の意識も向上

せせらぎの道を綺麗に！

Project by
うぶ&ななみ

～活動の経緯～

小さい頃は、まだ水が流れていて遊べる川だった。
だが、どんどん汚くなっていき、遂に流れなくなった。
近頃はたまに流れる日もあるが、それも突然すぎるし、
ポイ捨てなどもあり周りの人の意識は未だ低く、せっかく
の地域みんなの川なのに、このままにしていけるのは嫌だ
と思い、この活動をはじめた。

～やってきたこと～

○森公園の利用者インタビュー
○町内会の人へのインタビュー
「昔は子どもが遊べるほどの綺麗さだった」
「できることなら、昔のように子どもが安心して遊べるく
らい綺麗になって欲しい」
「昔は、週一回掃除されていたし、地域住民の意識も高
かった」
「せせらぎの道があることで、車や自転車の治安も良
くなるし、なくてはならないもの」

メイクによるきっかけ作り

名前：はるか

<活動の経緯>



中学生のころ、病気を患い自分に自信がなく苦しい思いをしていました。高校に進学するタイミングで感染拡大によるステイホーム期間に入った時にメイクに出会い、変わるきっかけを掴みました。地域のイベントで知り合った方が、自分の好きなことで社会貢献をされていて、自分も何かしたいと思い、中学生向けにメイクできっかけ作りをしたいと考えました。

<現状①>



若者の自己肯定感の低さ

日本財団の18歳意識調査（2022年）によると、6か国の中で最も自己肯定感が低い結果となった。また、「日々の生活で不安や憂鬱を感じる」という項目では、65%を超える人が“はい”と答えた。

<現状②>



多様性や個性を否定される（私が中学生のころ、悩み相談をした際の周りの反応）

親：それは勘違いだ。 先生：考え方を変えろ。

その後、病院に行くと病気と診断された。→否定されたことが辛かった。

<これまでの活動>



尼崎市の補助金を活用し、「自分に自信がなく、好きになれない中学生にメイクで変わるきっかけを届けるため」に、あまらぶチャレンジ事業ジュニアコースに応募。採択された。

<今後の活動>



イベント実施：中学生向けにメイクやヘアアレンジ、スキンケアのイベントを開催。

継続的な連絡：イベント参加中学生とLINEオープンチャット等で継続的に連絡を取り、情報を届ける。

日常的なケア：尼崎市立ユース交流センターなど、イベント以外でも日常的に支えられる居場所を紹介する。

<理想の状態>



- ・新たな人や自分との出会い。→考え方が広がる。
- ・メイクで自分の変化に気付く。→変われるんだと思ってもらう。
- ・自分への捉え方を変える。→少しでも自分の事を撫でられるようになる。